

指定管理者からの令和6年度事業報告概要

施設名	岡山県総合展示場コンベックス岡山
施設所在地	岡山市北区大内田 675 番地（代表地）

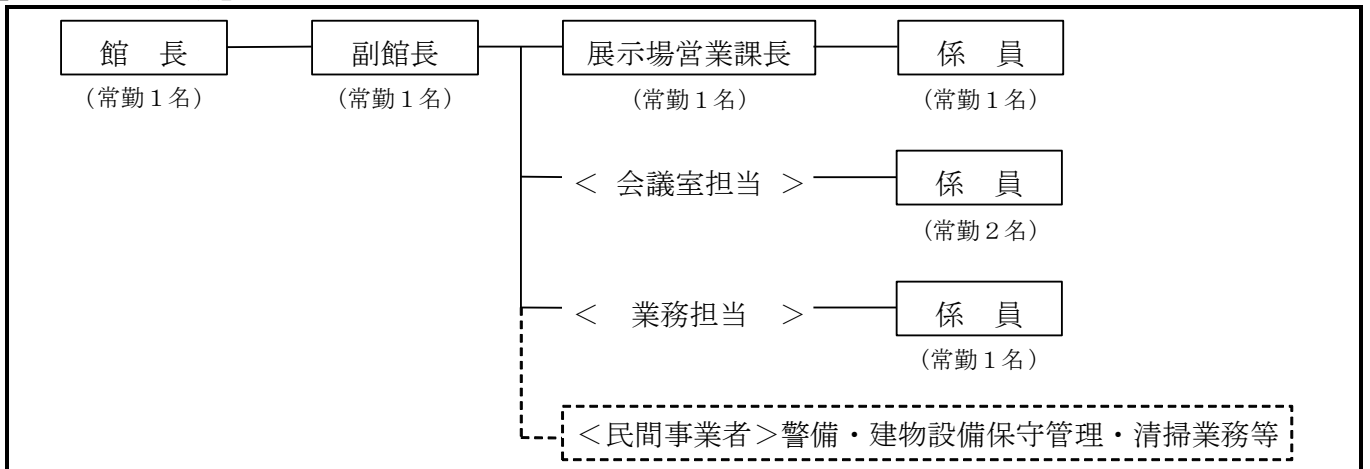
【指定管理者の概要】

名 称	コンベックス岡山コンソーシアム	代表者	伊原木 省五
所在地	岡山県岡山市北区本町 6 番 36 号		

【指定管理の概要】

指定期間	令和 6 年 4 月 1 日～令和 11 年 3 月 31 日	報告期間	令和 6 年 4 月 1 日～令和 7 年 3 月 31 日
管理業務の内容	・コンベックス岡山の施設及び設備の利用等の許可に関すること。 ・コンベックス岡山の施設及び設備の維持管理に関すること。 ・岡山県総合展示場コンベックス岡山条例第 2 条に規定する業務の実施に関すること。 ・上記に掲げるもののほか、コンベックス岡山の運営に関すること。		

【管理体制の状況】



【利用等の許可の状況】

(単位：件)

		展示場	会議室		合 計
許可 件数	6 年度	211	1, 041		1, 252
	5 年度	199	979		1, 178
	増 減	12	62		74

【維持管理の業務の実施の状況】

項 目	内 容
施設の維持管理業務	・建物保守管理 ・設備保守管理 ・清掃 ・警備 ・緑地管理 等
施設等利用許可業務	・大展示場 63 件 ・中展示場 60 件 ・小展示場 88 件 ・国際会議場 189 件 等
自主企画事業	・大水族園 (来場者数 41 千人) ・ふれあい動物園 (来場者数 28 千人) ・暮らしを彩る器フェア (来場者数 17 千人)

【利用料金の収入及び減免の状況等】

(単位：円、件)

	展示場	会議室	設備等	合 計
収 入 額	250, 605, 025	42, 865, 688	93, 642, 848	387, 113, 561
利用件数	211	1, 041	—	1, 252
減 免 額	543, 620	—	—	543, 620
減免理由	公共性・公益性の高い事業であるため			

指定管理者からの令和6年度事業報告概要

【管理に係る収支の状況】

(単位：円)

		6 年度	対前年度増減額	5 年度	備 考
収 入 額 A		539,786,281	△29,413,855	569,200,136	6 年度収入額 その他の主なもの ・テレポート岡山 電気料金負担金 54,812,216 円 ・レストラン収入 26,719,800 円
内 訳	指 定 管 理 料	—	—	—	
	利用料金収入	387,113,561	43,549,127	343,564,434	
	事 業 収 入	65,581,348	△71,705,760	137,287,108	
	そ の 他	87,091,372	△1,257,222	88,348,594	
支 出 額 B		441,296,178	1,749,640	439,546,538	
内 訳	人 件 費	49,183,399	4,869,568	44,313,831	
	管理運営費	312,128,648	56,108,229	256,020,419	
	事 業 費	79,984,131	△59,217,199	139,201,330	
	そ の 他	0	△10,958	10,958	
収 支 額 A－B		98,490,103	△31,163,495	129,653,598	
県への納入金		91,282,884	△33,717,116	125,000,000	
実質的な県負担額		△91,282,884	33,717,116	△125,000,000	

【特記事項（管理運営業務の実施状況の点検結果）】

点検項目		区分	特記事項（評価すべき点・改善すべき点）
管理 運 営 状 況	①適切な施設 管理の履行	B	適切な施設管理を履行した。
	②法令等の遵守 状況	B	関係法令に基づく義務を適切に履行した。
	③安全性の確保	A	施設の安全確認を毎日実施するとともに、安全性が劣ると判断した備品等は、即座に補修や更新を行った。
	④財産の適切な 管理	B	施設及び設備の経年劣化が進行する中、保守管理を適切に行い積極的な修繕や更新を行った。
導 入 効 果	①利用状況	C	展示場の利用件数は平年の同程度まで回復したが、平年開催していたイベントは規模縮小や日程短縮に変化しつつあり、来場者数は平年の6割程度であった。（展示場稼働率：61.9%、会議室稼働率：45.1%） 【来場者数（展示場＋会議室）】R6：559,156 人←R5：520,462 人 【利用件数（展示場＋会議室）】R6： 1,252 件←R5： 1,178 件
	②収支状況	B	施設利用が回復基調の中で、電気料金等の高騰や経年劣化による施設修繕で支出が増加する状況にあったが、定額納付金 90,000 千円と業績連動納付金 1,283 千円を納付した。
	③サービス向上	B	機動的な人員配置、経年劣化した備品の更新等によってサービスの向上を図った。
管理運営業務全般		B	利用者の安全安心に最重点を置いた適切な管理運営業務を実施した。

※「区分」欄は、点検結果の区分。区分の内容は次のとおり

A：予定していた業務水準を上回った。

B：予定していた業務水準を概ね実施した。

C：予定していた業務水準の一部が実施できなかった。 D：予定していた業務水準を下回った。